



平成 17 年 8 月 10 日

各 位

会 社 名 和弘食品株式会社
代表者名 代表取締役社長 和山明弘
(JASDAQ・コード 2813)
問合せ先
役職・氏名 取締役管理本部長 市川敏裕
電 話 0134 - 62 - 0505

平成 17 年 12 月期中間業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 2 月 15 日付け「平成 16 年 12 月期決算短信(非連結)」にて発表いたしました平成 17 年 12 月期(平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 17 年 12 月期中間業績予想の修正

(1) 中間期(平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	2,272	77	0
今回発表予想(B)	2,378	54	15
増減高(B - A)	106	23	15
増減率(%)	4.7	29.9	-
前中間期 実績	2,256	86	46

(2) 修正の理由

当中間会計期間の売上高については、みそ汁、ラーメンスープなどが好調で前回予想より 4.7% 増の 2,378 百万円となる見込みであります。

一方、損益につきましては、関東工場の全面的な改修工事が完了したものの本格稼働までの立ち上がりにより手間取り製造原価が増加し、また、改修に伴う除却費用が予想以上に発生したこと等により経常利益は 54 百万円、中間純利益は 15 百万円となる見込みであります。

2. 平成 17 年 12 月期通期業績予想の修正

(1) 通期(平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	5,100	351	166
今回発表予想(B)	5,150	207	65
増減高(B - A)	50	144	101
増減率(%)	1.0	41.0	60.8
前期 実績	4,845	334	171

(2)修正の理由

平成 17 年 12 月期下期の損益につきましては、中長期的な発展に資する人材の確保を行ったこと、品質の向上や生産性の向上を目的とした設備の増強を行ったこと等により費用が増加し、経常利益は 207 百万円、当期純利益は 65 百万円となる見込みであります。

以 上